

第 12 回練馬区区政改革推進会議 議事概要

日 時	平成 28 年 3 月 24 日(木) 午後 6 時 00 分～ 6 時 20 分
場 所	練馬区役所本庁舎 5 階 庁議室
次 第	1 開 会 2 区政改革に関する提言 (1) 提言の最終確認 (2) 委員長から区長へ提言書の手交 (3) 委員長あいさつ (4) 区長あいさつ 3 その他 4 閉 会
配付資料	資料 1 区政改革に関する提言
出席委員 (名簿記載順 ・敬称略)	土居 丈朗、別所俊一郎、赤尾 由美、相澤 愛、熊野 順祥 萩野 うたみ、上野 美知子、上月 とし子、中村 弘、若林 信弘
欠席委員 (敬称略)	川口 明浩、浜野 慶一
区出席者	区長 前川 耀男 副区長 黒田 叔孝 副区長 山内 隆夫 教育長 河口 浩 参与 三枝 修一 専門調査員 斉藤 睦 企画部長 中村 啓一 〔事務局〕 区政改革担当部長(企画課長) 森田 泰子 区政改革担当部区政改革担当課長 富田 孝 企画部財政課長 佐古田 充宏 企画部情報政策課長 田邊 裕晶 総務部職員課長 小淵 雅実

1 開 会

【委員長】

定刻になりましたので、第12回区政改革推進会議を開催いたします。本日は平成27年度最終回となります。提言を会議として確定し、その後、推進会議から区長に提言をお渡しするということとなります。よろしくお願ひいたします。

次年度以降の推進会議について、事務局からお願ひします。

【区政改革担当課長】

来年度もこの会議は継続して開催したいと考えております。委員長をはじめ、委員の皆様にも引き続きお願ひしたいと考えております。よろしいでしょうか。では、引き続きよろしくお願ひいたします。次回の会議の日程などは会議の最後にご案内させていただきたいと思ひます。

【委員長】

続きまして、本日の資料についてご説明をお願ひします。

【区政改革担当課長】

《資料について確認》

2 区政改革に関する提言

(1) 提言の最終確認

【委員長】

それでは、議事に入ります。まず、提言の最終確認を行います。前回の会議でいただいたご意見を踏まえまして、私と副委員長と事務局で調整を行いました。そして、委員の皆様にも提言についての最終確認をメールおよび郵送でお願ひしたところです。

事務局から前回との変更点について説明をお願ひします。

【区政改革担当課長】

《前回との変更点の説明》

【委員長】

今の変更点を含め、ご意見がありましたらお願ひします。特にご異存がなければ提言の内容を確定させていただきますがよろしいでしょうか。それではご了承いただいたということで確定させていただきます。

(2) 委員長から区長へ提言書の手交

《委員長から区長への提言の手交および写真撮影》

(3) 委員長あいさつ

【企画部長】

それでは、ここで推進会議を代表いたしまして、委員長からごあいさつをいただきたいと思います。

【委員長】

改めまして、推進会議へのご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。事務局の方々にもいろいろとご尽力いただきまして、こうして本日、提言を区長へお渡しすることができました。

最初の頃は、現状はどういうことなのかということで、いろいろなデータを事務局からお示しいただきながら、どうやって我々なりに理解していったらよいかということで、かなり長い時間を会議の中でもかけていただき、まずは現状の認識ということで議論させていただきました。その後、委員の皆様から現状を変えるアイデアをたくさん出していただき、私なりにも、最大限皆様の考えを提言に盛りこませていただきました。先ほど、提言をお渡ししましたので、区長にはこれを着実に改革の方向として実現していただきたいと思います。

もちろん早期にできるものから、長い時間かかるものまでありますので、実現の時期に早い、遅いがあるかと思いますが、我々の想いをぜひ区長の手腕で実りあるものにしていただきたいと思います。

まだまだ、我が国の行政を取り巻く環境はあまり良くありませんので、さらなる改革や努力・工夫を重ねていただかなければならないかと思っています。区政改革推進会議としても、今後の練馬区での取組を見守るという役割も残されていますので、来年度以降そのような役割の中で我々のできることをしっかりと果たしていきたいと思っています。委員の皆様と一緒に力を尽くしていきたいと思っています。

何はともあれ、委員の皆様の大なるご協力と、区長はじめ、練馬区の事務局の方々の多大なご苦勞に感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

(4) 区長あいさつ

【企画部長】

ありがとうございました。それでは、前川区長からごあいさつを申し上げます。

【区長】

ただ今、ご提言をいただきました。検討をお願いしたのは昨年6月ですから、本日まで12回にわたり、しかも夜分に委員長、副委員長をはじめ、委員の皆様にご熱心なご議論をいただきました。心から感謝を申し上げます。

私もこのような委員会や懇談会にたくさん出てまいりましたが、今回は通例と違い、皆さんが大変熱心でしかも率直にご意見をいただいたと強く心に残っ

ております。なかなか言いにくいこともおっしゃっていただいて、大変ありがたかったと思っております。

私は、例えば保育所の保育料の問題や、コストの問題、実際の区民生活の中で接した行政の感想など、「区民の皆様の実感はこういうものなのか」と強く感銘を受けました。

今回の提言の位置付けですが、私は、4月20日で区長に就任して2年になります。区長に就任するにあたり約束したのは、「改革ねりま」ということであります。これは2つ意味がありまして、1つは政策の改革、もう1つは区の体制、執行体制の改革です。前者についてはビジョンを作りました。後者を行っていたいただいたのは、まさにこの区政改革推進会議であります。会議の中で、大変貴重なご意見をいただいたと思うのは、「区政改革の主役というのは区民の皆さん、それ自身なのだ」ということです。「そのことをなかなか行政は言いにくいので、私たちから皆さんに伝えたい」というお話をいただきました。まさに改革とはこういうことかと思ひ、強く印象に残っています。

それは、私が日頃からいろいろな会合や集会を通じて、区民の皆様に接している中で感想そのものであります。いろいろな方が、いろいろな活動をしていらっしゃいますが、できれば行政と一緒にやりたい、あるいは行政から後押しが欲しい、と思っておられる方もたくさんいらっしゃいますし、行政の中に入っているいろいろな変えたい、という方もたくさんいらっしゃいます。どのようにしたらよいかなかなか分からないですが、今回いただいた提言をしっかり受け止めて、今申し上げたような区民の方々の参加の仕組みづくりも含めて、具体的な改革計画をこの秋を目途にまとめていきたいと考えています。そして、着実に実行していくつもりです。当然ながら、事務局からも話がありましたが、計画作りの過程でも推進会議の皆様には引き続きご意見を頂ければと思います。

私が先頭に立ちまして、皆様のお力添えをいただきながら、区民の皆様と一体となって、練馬区の改革を進めたい、そして、できる限り大都市東京における自治とはこういうものか、日本の住民自治とはこういうものか、という一つの範例を作ればとよいと思っております。来年度もお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

3 その他

【企画部長】

委員長、区長ありがとうございました。それでは、次回の日程と、この後6時30分からシンポジウムが開かれますが、その内容につきまして、区政改革担当課長からご説明申し上げます。

【区政改革担当課長】

次回の会議の日程についてですが、5月26日（木）午後6時30分からこの会場と考えております。今のところ、ご都合の悪いというご連絡はいただいておりませんので、この日程で行わせていただければと思います。内容等、今後

の進め方も含め委員長、副委員長にご相談させていただきたいと思います。まずは、区政改革計画の素案についてご報告したいと思います。

また、第11回の議事概要についてですが、時間が短かったためご用意できませんでした。後日、ご確認いただく時間を設けたいと考えております。

4 閉会

この後6時30分から本庁舎地下多目的室でシンポジウムを開催いたします。委員長をはじめ、パネリストの皆さま、委員の皆さま、よろしく願いいたします。この後、私どもの方でご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上